

斎藤秀一 [さいとう・ひでかつ]

1908 (明治41) 年～1940 (昭和15) 年

山形県東田川郡山添村 (現鶴岡市) で400年以上の歴史をもつ曹洞宗の寺、泉流寺に生まれる。1931 (昭和6) 年、駒澤大学卒業。不景気の時代にあって東京での就職はかなわず、不本意ながら郷里の人里離れた分教場で教鞭をとりつつ、方言研究、漢字問題、カナ文字運動、諸言語表記のローマ字化、エスペラント研究に取り組んだ。たったひとりで『文字と言語』等の研究誌を編集・印刷・発行するなどして、海外の研究者・言語運動関係者との国際的な連帯にも尽力。しかし、その道半ばの1938 (昭和13) 年、民衆の自由と解放をもとめる活動に目をつけた特高によって治安維持法違反容疑で検挙され、実刑判決。1年半もの投獄のすえ、事実上の獄死に追い込まれ、32年の生涯を閉じた。

